

献眼で
あなたにもできます

「光」の贈りもの

大日連山 / 撮影：野崎 博 (TPS富山県写真家協会会長)



第26号

公益財団法人
富山県アイバンク

富山県
アイバンクだより

献眼者ご芳名

平成31年4月から令和2年3月まで

平成31年

4月 池田 英彰 様 射水市
4月 藤本 清光 様 高岡市
4月 土肥 静夫 様 富山市
4月 浦 昭夫 様 富山市
4月 匿名希望 富山市
4月 匿名希望 黒部市

11月 匿名希望 富山市
11月 匿名希望 射水市
12月 富山 剛 様 魚津市
12月 匿名希望 高岡市
12月 高田 丞正 様 入善町
12月 岡崎 恵正 様 富山市

令和元年

5月 井加田信一 様 高岡市
5月 寺澤 和則 様 富山市
6月 京井 一夫 様 富山市
6月 高山 玉枝 様 黒部市
6月 岡本 賢三 様 魚津市
7月 匿名希望 氷見市
8月 匿名希望 魚津市
10月 寺垣 定則 様 富山市
11月 匿名希望 富山市

令和2年

1月 匿名希望 富山市
1月 花田 典信 様 富山市
2月 武田 豊子 様 砺波市
2月 木下 好子 様 滑川市
2月 匿名希望 富山市
3月 柄崎平一郎 様 南砺市
3月 梶本ハルイ 様 富山市
3月 辻井 良雄 様 高岡市
3月 匿名希望 氷見市

厚生労働大臣感謝状伝達式につきましては、コロナ禍の中、
本年は中止となりました。

令和元年10月から本年6月までに献眼頂きました22名の方には
ご遺族様へ郵送させて頂きました。

改めまして、ここに御礼申し上げます。



アイバンクとライオンズクラブ

日本で初めての角膜移植手術（1949年）を受けた14歳の少女は目が見えた時の喜びを詩に詠んでいる。

「ほんとうにありがとう」

うれしかったのは12才のとき 「角膜の手術をすれば見えるようになる」

といわれたこと そして手術後 はじめて母の顔が見えたとき

涙がとまりませんでした 先生は「それはうれし涙だよ」と 病院の窓から一日中盛岡の街なみを見ていました それは何もかも光輝いて 紅葉も、青い空も、雲も、街ゆく人たちも、 すべてが新しい感動でした

眼をくださった方、先生、ほんとうにありがとうございました

この手術の後、1958年「角膜移植に関する法律」が公布され、日本における献眼及び移植手術が正式にスタートしたのである。

日本のライオンズはその初期段階から普及に尽力した。岡山県では61年に、医師でもあった三木行治県知事（岡山ライオンズクラブ）が、県内登録者第一号となったのを機に、県下で活発な推進活動が展開されていった。

角膜の提供者と移植を待つ患者との懸け橋となる「アイバンク」も誕生する。日本初のアイバンクは、63年慶応義塾大学病院と順天堂大学病院に設立。同じ年に大阪に、その翌年には岩手医大と、東京の読売光と愛の事業団に、アイバンク設立の認可が下りた。

60年代後半には同時発生的に、各地で献眼運動が盛り上がった。静岡県では64年、僧侶のライオン勸山弘（沼津ライオンズクラブ）が、檀家の通夜で初めて角膜移植の場に立ち会ったのを機に、この無償の愛の行為に深く感動し、献眼推進運動にのめり込む。家族からクラブ、そして市内全域へと献眼登録の協力者を広げ、67年に沼津で全国初のアイバンク登録者大会を、翌68年には静岡県内全クラブによるアイバンク推進協議会を開催。更に71年にはアイバンク全国大会開催に発展した。



1977年、善光寺の門前で献眼登録運動を行う長野中央ライオンズクラブ

少女が詩に詠んだ見えることの喜びを一人でも多くの人に届けることが、ライオンズクラブの目標であり原動力だった。そうして半世紀以上にわたって献眼の啓発・推進に力を注ぎ、大きな役割を担ってきた。

見える喜びを全ての人に届けるため、ライオンズの献眼事業の歴史は続いていく。

（一般社団法人日本ライオンズ発行 ライオン誌2020年7・8月号より抜粋）

献眼者ご遺族の手記

辻井 利男

父は、若い頃、仕事中に片目を傷つけて、視力が悪くなり、眼鏡をかける生活になりました。その為、目の大切さを、私にやかましく言っていました。

父は、60歳で高岡ライオンズクラブに入会して、程なく献眼登録をし、90歳で退会しました。今年の3月に95歳で他界した時に、父の遺言通り無事献眼できた事を誇りに思います。

富山県アイバンクの理事長様には、葬儀の際、弔辞をいただき大変ありがとうございました。偶然にも、本年度、私は、334-D地区2リジョンの地区四献・環境保全委員に任命され、献眼登録の啓発活動をしています。

最後に20年前、父と晩酌をしていた時、「おまっちゃん夫婦、献眼登録をしておいたよ」と、突然言われ、酔っていたので、「はい、わかりました」と何も解らずに答えたのを、懐かしく思い出されます。



95歳の誕生日 ひ孫さんと共に

次ページの移植を受けた方との関連はありません

移植を受けた方からの手紙

幼児 女性

この度は、角膜をご提供頂き誠にありがとうございました。私共の娘は先天性のデルモイドと診断されてから、幼少から大学病院で受診する日々でした。幼児になり保育園に行くようになると周りの子供と自分の目の形が異なることに気づきはじめ、親としてもなんとかしてあげたいと思う日々が続いていました。先生とも相談しながらなんとか小学生になるまでにはと、親としては、身勝手な考えと思われるかもしれませんが、手術ができるようにと願いながら生活しておりました。その思いがようやく届いたのか、2020年7月に手術予定になり家族で喜んでいましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になり、娘と、もうしょうがないけど、いつになるかわからないねと落ち込んでいました。しかし、急遽角膜の提供があり、同年9月に手術ができることになり、手術後も順調で、娘も目を見ては感謝とともに視野が正常によく見えることにととても喜んで毎日です。最後になりましたが、ご家族がお亡くなりになるという状況の中、角膜提供にご賛同頂いたご遺族の皆様にはただただ感謝の言葉しか見つかりません。大変な悲しみのなかでの決断を賜り厚く御礼申し上げます。主治医の先生、看護師の皆様、また富山県アイバンクの皆様、本当にお世話になりありがとうございました。本人がまだ書けないため、母親が気持ちを代筆させて頂きました。

40歳代 男性

この度は角膜を提供して頂き、誠にありがとうございました。ドナー登録をされていたご本人はもとより、同意して頂けた御遺族に心より感謝いたします。いや、感謝という言葉だけでは到底表現しきれません。私は昨年2月より病気で右眼の視力を失い、角膜移植手術しか残された手段がございませんでした。私の仕事は特殊な職種の為、普通の仕事より眼を酷使することが多く、失明している状況が長引けば解雇の可能性もありました。息子達にはまだまだ教育費がかかり、私自身の年齢、眼のハンデを考えると再就職も難しく途方に就いていました。そんな折、角膜提供のお話を頂いたのです。待ちに待った角膜提供の話、しかしながら胸中は複雑でした。なぜなら角膜提供イコール提供者の方が亡くなったという事実があるからです。本当に自分なんかで良いのだろうか、大切な御家族の身体の一部を見ず知らずの人間に提供することを御家族は納得されているのだろうか、手術の返事を一旦保留し真剣に考えました。しかし、ドナー登録をされた故人の遺志、そして提供者に選ばれた私との縁、これら全てを感謝し受け入れようと思い、手術に踏み切りました。ドナーの方のおかげで私も人生の再出発ができたのです。

私の右眼で見る景色はドナーの方の目で見える景色です。これからの残りの人生はドナーの方と共に生きていき、与えられたチャンスを故人の分まで生きていきます。本当にありがとうございました。

敬具

献眼登録について

高岡ライオンズクラブ
会長 竹中 勝治

今年の3月19日に元・高岡ライオンズクラブ会員の辻井良雄様の通夜式に参列したところ、ご本人が献眼登録をしておられた為に、献眼をされたということを知りました。

その場で、富山県アイバンクの大黒幸雄理事長より喪主の辻井利男氏（高岡ライオンズクラブ会員）に感謝状が読み上げられ、またライオンズクラブ国際協会334D地区ガバナーの山岸博之ライオンからも感謝状が寄せられていました。

実は、私は身近な方が献眼をされたということを知るのは初めてでしたが、2名の失明をした方が光を取り戻すということを知り、その崇高な行いに大変感激をしました。

高岡ライオンズクラブでは四献運動（献血・献眼・献腎・骨髄バンク登録）の内、献血奉仕の活動は毎年20箇所以上で行っていますが、近年それ以外の運動は殆ど行ってきませんでした。

その後、献眼登録について調べますと、富山県に於いては早くからライオンズクラブが最も献眼運動に熱心で、現在では県内のライオンズクラブの会員1,271人の内691人（54.4%）の登録があるということがわかりましたが、新規の登録者が年々減少気味であるということでした。

そこで、丁度私が本年度の高岡ライオンズクラブの会長を承っていましたので、クラブの重点事業として献眼登録の啓発運動を取り上げることとし、9月の例会において富山県

アイバンクに活動費として金一封を贈呈すると共に、事務局のコーディネーターの入江氏より献眼登録についてのお話をお聞きしました。

今後も当クラブの会員だけではなく、広く市民の皆さんにも献眼登録の啓発活動を続けたいと思います。



私たち入善ライオンズクラブのアイバンクとの歴史

入善ライオンズクラブ
前会長 米山 義隆

私たち入善ライオンズクラブのアイバンクとの歴史は古く、昭和58年から善意銀行のアイバンク運動推進特別委員であったメンバーが町内各所で献眼についての講演を始めたのが始まりと聞いています。

その当時はクラブで手作りチラシを作成し諸団体へメンバーが分担して配布をしたり、新聞折込等も行ってアイバンクへの理解と献眼への登録をお願いしたそうです。翌年にはその甲斐もあり献眼登録者数が84名となったと記されています。

平成3年に富山県アイバンクが設立されてから現在まで、町内企業のイベントを始め入善町主催のイベントにおいて啓発活動を実施しています。特に代表するイベントとして入善商工会青年部が毎年2月に主催する「入善ラーメンまつり」や入善町が10月に主催する「入善まつりんぴっく」の会場内において多くの来場者にアイバンクカード等を配布したり興味を持たれた方にはきちんと説明を行い理解を深めて頂きながら登録者数増に努力しています。

現在、入善町内の登録者数が361名とまだまだ少ない状況であります。

私共クラブメンバーにおいても登録者数が21名とメンバー数の44.7%とまだ過半数に満たない状況です。まずはこの状況も打破しながら今後も多くの方々に光の贈りものが届けられるように啓蒙活動に力を入れていきたいと思ひます。



入善まつりんぴっく

ご芳志ありがとうございました。

敬称略
単位：円

□寄付者 ご芳名 平成31年4月～令和2年3月

☆一般（個人）

屋根 慎二	60,000	埜田 紀子	5,000	中川吏永子	3,000
小寺 千春	50,000	一刎 幸子	5,000	中西 広一	3,000
津根 良孝	50,000	二口 清子	5,000	長原 好成	3,000
河島 早苗	30,000	堀 壽夫	5,000	永森 良夫	3,000
野村 謹吉	30,000	匿 名	5,000	中山のぶ子	3,000
水木 秀雄	30,000	高田 眞	4,500	野澤 喜一	3,000
筏井 晴夫	20,000	朝倉 一美	3,000	畑 孝子	3,000
豊田 耕一	20,000	跡治 幸子	3,000	畑中 弘行	3,000
匿 名	20,000	穴田 清	3,000	林 巖	3,000
大浦 均	15,000	幾島かをる	3,000	廣上 成志	3,000
中野 忠雄	15,000	石黒 寛	3,000	福井 博	3,000
愛場 正利	10,000	石瀬 礼子	3,000	堀 郁夫	3,000
愛場 京子	10,000	石山 金司	3,000	水木國夫・幸枝	3,000
岩村 耕二	10,000	伊藤 光雄	3,000	南 正子	3,000
岡本とみ子	10,000	稲場トシ子	3,000	室山 若子	3,000
小川 広美	10,000	稲村 栄勝	3,000	目澤 益子	3,000
神嶋 利夫	10,000	上田 雄一	3,000	元野 清光	3,000
作村佐智子	10,000	内山 照子	3,000	森田 明子	3,000
里村了三・民代	10,000	梅本 直明	3,000	矢木 義人	3,000
竹嶋 一恭	10,000	尾山 和子	3,000	八島 利夫	3,000
武田 宏	10,000	片岡毅久雄	3,000	山沢 美子	3,000
竹部 俊恵	10,000	河邊 和子	3,000	山田 和枝	3,000
梶野尾桂子	10,000	菊地 清	3,000	山田志津枝	3,000
能瀬 和雄	10,000	木山 隆	3,000	山田 秀三	3,000
野村 健造	10,000	小瀬代志子	3,000	山本 清	3,000
畠山 志郎	10,000	駒野 松也	3,000	吉田 幸子	3,000
松井久雄・優子	10,000	佐竹 幸江	3,000	吉田 卓矢	3,000
村上 果	10,000	佐藤 瑞恵	3,000	米澤 務	3,000
百澤千賀子	10,000	澤田 壽朗	3,000	我妻 眞美	3,000
石田 康次	6,000	三田 和子	3,000	匿 名	3,000
笹島 延元	6,000	志鷹 高子	3,000	角井 敬子	2,000
中西 清一	6,000	篠塚 征則	3,000	中村 理奈	2,000
久田 茂光	6,000	新村ます子	3,000	溝口恵美子	2,000
森川洋介・敬介	6,000	須垣 欣子	3,000	匿 名	1,500
小川 季子	5,000	千龍義信・かな子	3,000	大嶋 淳子	1,000
炭谷 洋子	5,000	卒田小百合	3,000	久々湊 亮	1,000
善明トミ子	5,000	高林 咲子	3,000	篠崎 宣行	1,000
竹田 市次	5,000	田谷 睦己	3,000	古瀬 義一	1,000
谷野 克巳	5,000	出口テル子	3,000	松本恵美子	1,000
田之下和美	5,000	寺澤 和美	3,000		
中川 正吉	5,000	鳥切百合子	3,000		

☆一般（法人・団体）

医療法人明世社白井病院	200,000	株式会社富山県義肢製作所	10,000
株式会社北陸電設	100,000	有限会社富山重機	10,000
株式会社オフィスケイ	10,000	日商建材株式会社	10,000
こしぶ眼科クリニック	10,000	田中眼科医院	6,000
有限会社佐々木博善社	10,000	医療法人明心会柴田医院	5,000
医療法人社団整志会	10,000	たかた眼科	5,000
沢田記念高岡整志会病院			

☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ2リジョン 2ゾーンガバナー公式訪問	80,000	魚津ライオンズクラブ	100,000
ライオンズクラブ2リジョン 3ゾーンガバナー公式訪問	50,000	氷見ライオンズクラブ	100,000
大門ライオンズクラブ	297,229	新湊ライオンズクラブ	100,000
富山南ライオンズクラブ	100,000	富山いきいきライオンズクラブ	50,000
富山東ライオンズクラブ	100,000	高岡古城ライオンズクラブ	50,000
入善ライオンズクラブ	100,000	富山みなとライオンズクラブ	12,000

□賛助会員 平成31年4月～令和2年3月

個人会員

新多 勇人	鎌谷 克彦	竹本 毅	新田 正昭	道原 英克
石田ひとみ	上山 恵巳	竹本 福志	野尻津喜夫	宮腰 晃央
一川 順彦	狩野 俊哉	舘 奈保子	野尻登美子	宮島 清
伊藤 光雄	河原 知昭	谷口 保孝	能瀬 和雄	毛利 良子
今井 幹雄	刑部 郁子	土田 豊	野村 賢政	森 弘
今村 知代	串田 正二	寺井 仁	長谷川修博	森田 嘉樹
植田 芳樹	久保啓二郎	東條 直貴	林 篤志	山尾 佳史
梅田 清一	黒崎 春久	戸澤 秀行	林 貴文	山崎 和子
大浦 均	小林 英則	飛田 茂代	針山 健史	山崎 泰邦
太田 茂	斉藤 周子	豊田 葉子	廣瀬 利行	山崎与四之
大田 妙子	齊藤 譲一	鳥崎 真人	藤記 尚子	山下 陽子
大塚 光哉	佐賀野昭一郎	鳥山 博	藤塚由紀子	山本 明彦
大庭 知子	作村佐智子	中川 伸一	藤巻 篤子	吉崎 清則
奥原喜代司	篠田 和男	中川 正人	堀 巖	米山 六博
小沢 正康	清水 英子	長勢 知子	町田スゞエ	若森 征雄
片口 尚志	杉本喜久子	長田 雅子	松倉 正機	
片山 寿夫	凶師 真弓	中村 孝子	水木 國夫	
金井 澄子	高柳 昇	波岡 一子	水野 敏博	

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所	株式会社広野
株式会社押田建築設計事務所	富源商事株式会社
北日本新聞伏木販売店	株式会社藤井産業
久保毅税理士事務所	株式会社フシキ住設
株式会社黒東アメニティ公社	北陸エンジニアプラスチック株式会社
有限会社笹島商事	北陸バンドー株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	有限会社北高運輸
株式会社すがの印刷	マスイエンジニアリング株式会社
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舩谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
株式会社富山県義肢製作所	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
富山スガキ株式会社	株式会社丸八
東光運輸株式会社	ミユキ化成株式会社
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院	株式会社渡辺板金工業
平田眼科医院	

☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました。平成31年4月～令和2年3月

☆一般

富山第一ホテル	24,582	富山赤十字病院 眼科外来	7,179
ポプラ高岡泉ヶ丘店	11,157	北陸健康センターアラピア	6,952
医療法人社団ますだ眼科医院	10,753	第一イン新湊	6,296
福笑	9,409	グリーンリーブス高岡市民病院売店	4,890
ポプラ戸出春日店	8,987	北陸銀行稲荷町出張所	4,104

☆ライオンズクラブ関係

小杉ライオンズクラブ	49,655	新湊ライオンズクラブ	10,000
立山ライオンズクラブ	12,187		

公益財団法人富山県アイバンク 平成31年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。

本年度の献眼登録者数は、48名となった。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

●ドナー情報が37名あり、30名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	在住地
4月	50歳代	男性	射水市
	80歳代	男性	高岡市
	80歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	黒部市
5月	90歳代	男性	高岡市
	70歳代	男性	富山市
6月	70歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	黒部市
	80歳代	男性	魚津市
7月	70歳代	男性	氷見市
8月	70歳代	男性	魚津市
10月	80歳代	男性	富山市
11月	60歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	在住地
11月	60歳代	男性	富山市
	80歳代	女性	射水市
12月	80歳代	男性	魚津市
	80歳代	女性	高岡市
	90歳代	男性	入善町
	80歳代	男性	富山市
1月	70歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	富山市
2月	70歳代	女性	砺波市
	70歳代	女性	滑川市
	40歳代	男性	富山市
3月	60歳代	男性	南砺市
	90歳代	女性	富山市
	90歳代	男性	高岡市
	60歳代	男性	氷見市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、角膜のあっせんを行い、58名の方に角膜移植が、また、強膜のあっせんを行い、137名の方に強膜移植が行われた。

② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

(3)普及啓発事業

①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院において病院症例検討会を行った。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、高岡市民病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山市民病院の院内移植委員会等に参加した。

②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で9回実施した。

(4)その他

第80回富山眼科集談会にてミニ発表をした。

〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより」を11,200部発行し、献眼登録者、県内医療機関、市町村、関係機関へ配布した。

令和3年度の啓発用ポスター写真を募集

応募期間：令和2年12月1日から令和3年6月末日まで

テーマ：富山県の市町村の風景・自然・人 富山県の景色を見せてあげよう。

募集対象：どなたでも応募いただけます。

応募可能作品数：1人3作品まで

応募方法：郵送またはメールにて応募

郵送の場合→ 〒930-0194 富山市杉谷2630番地 富山大学医学部内
公益財団法人富山県アイバンク

メールの場合→ info@toyama-eyebank.com

サイズ：4334pixel × 6118pixel / 縦型デザイン JPGで保存（2MB以内）

なお、受賞作品については結果発表後に制作データをお送り頂きますので必ず保管して下さい。



公益財団法人富山県アイバンク 平成31年度収支決算書（損益）

平成31年4月1日～令和2年3月31日
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	15,574	0	15,574
②特定資産運用益	2,637	0	2,637
③受取会費	806,000	0	806,000
④事業収益	17,000,000	0	17,000,000
⑤受取補助金等	2,880,000	1,000,000	3,880,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000
⑥受取寄付金	2,446,920	66,460	2,513,380
寄付金収入	2,347,229	0	2,347,229
募金収入	99,691	66,460	166,151
⑦雑収益	20,529	13,687	34,216
経常収益計	23,171,660	1,080,147	24,251,807
(2)経常費用			
事業費	16,285,906	0	16,285,906
①眼科のあっせん等に関する事業費	3,699,544	0	3,699,544
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,957,140	0	1,957,140
③公益事業共用費	10,145,222	0	10,145,222
④什器備品償却費	484,000	0	484,000
管理費	0	2,279,067	2,279,067
①諸給与支出	0	862,870	862,870
②会議費支出	0	703,368	703,368
③需用費支出	0	633,349	633,349
④退職給付費用	0	78,980	78,980

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
⑤什器備品償却費	0	0	0
⑥租税公課	0	500	500
経常費用計	16,285,906	2,279,067	18,564,973
評価損益調整前当期増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,885,754	△ 1,198,920	5,686,834
一般正味財産期首残高			83,429,505
一般正味財産期末残高			89,116,339
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			89,116,339

公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(令和元年7月25日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長

役職	氏名	勤務先
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

(令和2年6月22日現在)

理事40名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
理事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	金井 澄子	元公益社団法人富山県善意銀行 特別参与
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	石黒 雄一	富山県 厚生部長
理事	車 司	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	片山 壽夫	片山眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	井村 昭彦	元富山県議会議員
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫

役職	氏名	勤務先
理事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役
理事	渡邊 清隆	株式会社富山市場輸送 代表取締役
理事	三井 隆夫	中央薬品株式会社 取締役常務執行役員
理事	中屋 久孝	
理事	関澤 浩	株式会社アルキャン 代表取締役
理事	野村 賢政	株式会社新湊ヤンマー 代表取締役
理事	柏木 俊之	柏木工業株式会社 代表取締役
理事	斉藤 彰久	スポーツキャプテン 代表
理事	中川 伸一	富山市農業協同組合 非常勤監事
理事	前田 隆夫	株式会社前田商会不動産サービス 代表取締役
理事	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役
理事	神嶋 利夫	小外水産株式会社 取締役
理事	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
理事	杉木 徹	杉木鉄工株式会社 代表取締役社長
理事	館 良一	株式会社シー・エー・ピー 代表取締役会長
理事	辻井 利男	株式会社花金 代表取締役社長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

公益財団法人富山県アイバンク評議員

(令和2年6月29日現在)

評議員37名

氏名	勤務先	氏名	勤務先
泉野 正人	株式会社泉野地所 代表取締役	渡辺 隆英	有限会社渡邊工業 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長	渡辺 誠治	有限会社わたなべ電装 代表取締役社長
内野 忠	株式会社北越 代表取締役社長	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
木村 貴之	有限会社エイキ 代表取締役	弓野 久和	大家庄農事生産組合 組合長
高田 重信	富山市議会議員	森田 誠一	株式会社森田木工所 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 取締役	北林 和正	有限会社北林不動産管理 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	田邊ゆかり	株式会社エイアイエスコポレーション 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	車 啓三	クルマ商事株式会社 代表取締役
小山 登	有限会社南大門 代表取締役	工藤 光也	
岡本 葉子	有限会社プロハート 代表取締役	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
山口 勝康	株式会社CSM 代表取締役	飯田 和男	有限会社ミナト 代表取締役
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	新多 勇人	優トラベルクラブ 代表者
南 俊正	元富山市議会議員	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	片口 真	立山化成株式会社 代表取締役
毛利 功	株式会社毛利園芸 代表取締役	片山 和行	株式会社北越 代表取締役社長
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
中田 眞法	大岩山日石寺 責任役員	長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 事務局長
橋本 篤	橋本事務所 代表(所長)		

— 広報委員会 —

委員長：笹井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

— P R 部 —

部長：畠山 志郎

齊藤 彰久 杉木 徹 関澤 浩 舘 良一 中尾 順一 松田 恵昌 三井 隆夫

編集後記

今年も広報誌「アイバンクだより」を皆様のお手元に届ける事が出来ました。献眼に関する法律が施行された頃の、日本のライオンズクラブの熱い思いが時間の経過とともに薄らいでいる昨今を鑑み、温故知新の意味をもこめて「ライオン誌」から当時のことが記載された記事を抜粋掲載しました。

献眼運動が県民の皆様に広がり、献眼が当たり前の時代になればこんなに嬉しいことはありません。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに貴重な原稿をいただきました各位に深謝申し上げます。

広報委員長 笹井晴夫(高岡フลาวァーライオンズクラブ所属)



富山県アイバンクだより

第26号・令和2年12月1日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630
TEL (076)434-5710
発行人：大黒 幸雄

アイバンク Q&A



Q1. 献眼と臓器提供ってどう違うの？

A1. 献眼は心停止後に眼を提供していただくことで、臓器提供は、体内の臓器を提供することです。

Q2. 何歳までできるの？

A2. 年齢の制限はありません。100歳以上の方からのご献眼いただいています。また臓器提供は、肝臓を除いて年齢制限があります。

Q3. どうやって提供するの？

A3. ご本人の意思でアイバンクに登録していただくと、登録カードを発行します。そしてご本人が亡くなられた時点でご家族からアイバンクに連絡していただくしくみになっています。また、登録していなくても拒否していない限り、ご家族の同意で提供できます。

Q4. 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

A4. できます。白内障や近視、乱視、老眼、色覚障害のある方のような眼の異常があっても献眼は可能です。

Q5. どこで提供するの？

A5. お亡くなりになったところで提供していただきます。病院であれば病院で。またご自宅であればご自宅まで医師が出向きます。

Q6. 献眼できない病気ってあるの？

A6. エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

Q7. 献眼した後はどのようになりますか？

A7. 義眼を入れお顔が変わらないようにていねいに処置します。おだやかな顔はそのままです。また、摘出時間は30分程度とわずかです。